

歴史に寄り添う
まちづくり

伝建群だより

感性育み 未来織りなす

絆なまち桐生

編集・発行

桐生市産業経済部 日本遺産活用室

電話 0277-46-1111(内線 346、347)

令和 5年 10月 1日発行 No.77

今年は、全国各地におきまして夏の猛暑、また大雨による災害等の被害も発生し、暑さや災害への対策、備えが非常に大切になりました。またこれから、秋から冬に向かい、空気がとても乾燥しますので、**くれぐれも火の元にご注意ください。**



「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

(2023年度全国統一防火標語)

総務省消防庁 消防統計より

出火件数 11,810件(令和5年1月～3月)

出火原因 1位「たばこ」 2位「たき火」 3位「コンロ」(令和4年統計)



重要チェックポイント！！

◆今一度のご確認をお願いいたします◆



NO MORE 火災！

★火気の管理を徹底するため、たばこ、たき火、ろうそく、線香等、火気利用の際に確認すべき項目についての点検を実施しましょう。

★電気配線及び器具については、漏電や加熱などによる出火が起きないように、コンセントの周りの清掃の実施、配線の損傷の有無確認、タコ足配線を使用していないか等についての点検を実施しましょう。

★下記項目の確認を行いましょ

□たばこの吸いがらはきちんと火を消す

□吸いがらを直接ごみ箱に捨てない

□歩きたばこ、ポイ捨ては絶対にしない

□コンロの近くに燃えやすいものを置かない

□コンロから離れるときは、必ず火を消す

□コンセントを長期間差したままにしない(ほこりがたまって発火することがある)

□アイロンやドライヤーなどの使用後はプラグを抜いておく

□仏壇のろうそくや線香をつけたまま、部屋を離れない



国内外の国宝・重要文化財(建造物)におきましても、火災が発生しています。

今年になってからは、茨城県桜川市の真壁重伝建地区外ではありますが、文化財の建造物についても火災が発生しています。上記「重要チェックポイント」を参考に、再度一人ひとりの意識を強く持ち、今後も火災を起こさないように地域一丸で心がけましょ。

災害を防ぐ・災害から避難する・災害に備える

◆災害を防ぐ

- ・屋根の瓦がずれていないか定期的にチェックする
- ・外壁に大きなヒビが入っていないか確認を行う

◆災害から避難する

- ・ハザードマップを事前に見ておく(桐生市HP等 水害・地震防災)
- ・避難経路と場所、避難方法を確認しておく

◆災害に備える

- ・備蓄品を準備しておく(水・食料など)
- ・非常持ち出し袋を準備しておく(リュック等に非常食や着替、飲料水、常備薬を入れておく)



近隣には、手助けを必要とする方々もいらっしゃいますので、声かけやコミュニケーションを図りながら、もしもの災害時には混乱状態にならないように準備を行いましょう！

(仮称)重伝建地区公開活用施設整備事業の進捗状況



【蔵】内部状況



【ミセ座敷】屋根大棟飾り漆喰施工

(仮称)重伝建地区公開活用施設運営方法の意見交換会のご案内

主催：桐生市日本遺産活用室

●本町一丁目にお住まいの方、お勤めの方

令和5年10月17日(火) 午後6時30分～ 本町一丁目集会所

※天神町にお住まいの方は、本町一丁目集会所にご参加下さい。

●本町二丁目にお住まいの方、お勤めの方

令和5年10月14日(土) 午後6時30分～ 有鄰ラウンジ(桐生歴史文化資料館 2階)

現在工事中の(仮称)重伝建地区公開活用施設の開館に向けて、施設の運営方法の参考とするため、皆様と意見交換の場とさせて頂きたく、お忙しい中大変恐縮ですが、ご参加いただけますよう、よろしくお願いいたします。

(仮称)重伝建地区公開活用施設の名称・通称アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今後、名称及び通称決定の参考とさせていただきます。